

「サンタさんへの手紙」展示

「プレゼントありがとう」

中央郵便局 来場者、文面に笑顔

東北地方の子どもたちがフィンランドのサンタクロース宛てに書いたはがきを展示した「サンタさんへの手紙」が31日、秋田市保戸野の秋田中央郵便局で始まった。サンタクロースへのメッセージが書かれたはがき約50枚が来場者の目を楽しませている。3日まで。

日本・フィンランドサンタクロース協会(宮田仁美代表理事)の主催。2001年からフィンランドのサンタクロース中央郵便局と共同で、日本の子どもとサンタクロースが手紙で交流できるように企画している。

会場に並ぶはがきには、サンタクロースやトナカイの似

顔絵に「サンタさん大好き」

「プレゼントありがとう」などメッセージが添えられている。中には「またお菓子を用意して待っています」と書かれたものもあり、来場者は

子どものかわいらしい文面に笑顔を見せていた。

同市外旭川の佐藤千恵子さん(68)は「メッセージを読んでも、ほっとした気持ちになった。サンタさんはいつまでも子どもに夢を与え続けてほしい」と話した。

入場無料。きょう1日は午前9時～午後5時(2日と最終日は午後0時半まで)。展示されたはがきは東北6県を巡回後、来年夏にサンタクロースに返される。

また、「サンタクロースからの手紙」は、

有料(1通1600円)で希望者に郵送される。簡易郵便局を除く県内全ての郵便局で受け付けており、申し込みは12月1日まで。申込者には同25日のクリスマスまでにフィンラ

サンタクロースに宛てて書いた子どものはがきを見る来場者

(佐藤裕奈)

